



GREEN LETTER

グリーンレター

Vol. 270

2019/07/01

今月の一枚

今月のイベント

参加者募集

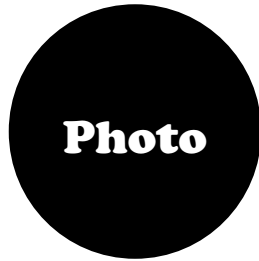
GREEN COLUMN

01. 色彩からみる人物画

02. 明治時代の運動会



今月の一枚



「雨粒の結晶」

表紙写真・文／久保田結衣

公園を歩いていたところ、たくさんの^{あやめ}菖蒲
が咲いていました。

見ごろは過ぎていたものの色鮮やかに咲
き、その上には陽に反射し、宝石のように輝
やく雨粒が。

菖蒲のはつらつとした紫色と、澄んだ雨粒
がみずみずしく、生命の美しさを感じる瞬間
でした。

Event. 今月のイベント

企画展「絵を描く心～岸本裕躬作品より」～10月20日（日）

「夏だ！昆虫グッズ！無料レンタル」～8月31日（土）

博物館講座（自然編）「美幌の石ころ標本作り」 7月14日（日）

プチ工房「ジェルキャンドル」 7月24日（水）, 26日（金）

博物館講座（歴史編）「縄文土器を作ってみよう」 7月27日（土）

Information. 参加者募集

博物館講座（自然編）「美幌の石ころ標本作り」

【体験会】●7/14（日）10:00-12:00 ●美幌町内（集合解散は美幌博物館）●保険料・材料代（250円）, 野外で活動できる服装（長そで, 長ズボン, 帽子）, 長靴、虫除け, 飲み物, 雨天時は雨具 ●東豊土（日高山脈博物館） ●美幌博物館へ電話申込み（6/1-7/10）。キャンセルは7/10まで。それ以降は保険料100円がかかります。対象は中学生から一般。小学生も参加可能ですが、小学3年生以下は保護者の同伴が必要, 定員25名で締切。

プチ工房 「ジェルキャンドル」

●7/24（水）, 26（金）10:00-12:00, 14:00-16:00 自由に入室。作品ができたら終了 ●美幌博物館 1F 講座室 ●材料費（700円） ●城坂結実（美幌博物館） ●申込み不要。小学校3年生以下は保護者の同伴が必要。

博物館講座（歴史編）「縄文土器を作ってみよう」

【体験会】●7/27（土）10:00-12:00（土器作り）, 8/10（土）10:00-14:00（野焼き） ●美幌博物館 1F 講座室（土器作り）, みどりの村キャンプ場（野焼き） ●保険料・材料代（600円）, 汚れてもよい服装・タオル（土器作り）, 軍手・昼食・飲み物・汚れてもよい服装（野焼き） ●八重柏誠（美幌博物館） ●美幌博物館へ電話申込み（7/2-7/24）。キャンセルは7/24まで。それ以降は保険料100円がかかります。対象は中学生から一般。小学生も参加可能ですが、小学3年生以下は保護者の同伴が必要, 定員16名で締切。

博物館講座（芸術編）「コツをつかんで魅力的な絵を描いてみよう」

【体験会】●8/3（土）10:00 - 13:00 ●美幌博物館 2F 視聴覚室 ●材料費（200円） ●渡辺貞之（深川市アートホール東洲館） ●美幌博物館へ電話申込み（7/2-7/31）。対象は中学生から一般。小学生も参加可能ですが、小学3年生以下は保護者の同伴が必要, 定員25名で締切。

今月の休館日

1日, 8日
16日, 22日
29日

〈凡例〉 ●日時 ●場所 ●費用, 持ち物 ●講師 ●申込み方法

01 GREEN COLUMN グリーンコラム

色彩からみる 人物画

絵／岸本裕躬・文／久保田結衣



人物画と言えどどのような絵が思い浮かびますか？西洋画における人物画は、写真が登場する1800年代までは、事象の記録や肖像画としての役割を果たしていました。しかし、写真が普及すると、次第に記録としての役割が薄れていきます。実物のように描く写実性とは他に、作家の内情や対する人物の背景、生い立ちといった精神的な表現が画家の間で求められるようになり、新たな芸術の扉が開きました。

色彩の使い分けによって人物の人となりを示す技法を追求したのが、ムンク（1863-1944）やマティス（1869-1954）などの作風でした。大胆な色で塗られた人物、そして、大きくデフォルメされた形からは、作者あるいは描かれた対象の内なる声が表現されています。また、描かれた背景は人物と同じ色が使われ、同化していることが多

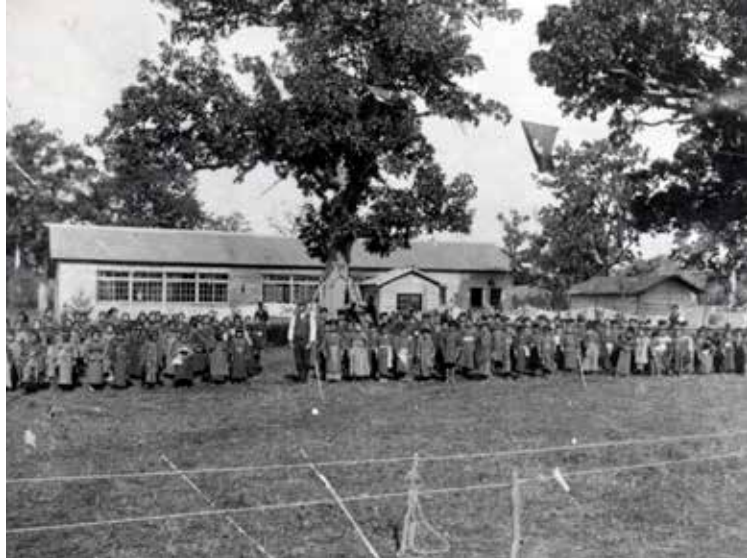
く見られます。背景とともに描かれた人物からは、一例ですが、赤は激情、青は冷静、モノトーンは虚無感などが共通して感じられます。

当館では、横森政明（1927-）の《堤防地にて》や岸本裕躬（1937-2011）の《亡き父の像》（写真・一部）が色彩で心情を表した作品と言えます。壮大な背景と同系色で塗られた人物や、人物と同じようにうねりを伴った背景、この相互関係は作家の心情からなる訴えを深く感じられるのではないのでしょうか。

人物画は、写真のように写実的に描かれたものはもちろん、現実とはかけ離れた色彩で描かれた作品も、紐解いていくと鑑賞の奥深さが広がると思います。ぜひ多くの作品に触れて、色について思いや考えを巡らせてみてください。

明治時代の 運動会

写真／美幌博物館収蔵資料・文／八重柏誠



北海道の初夏の風物詩と言え
ば、運動会が思い出されるの
ではないでしょうか。町内の学校でも、
この時期に開催されており、先日もグ
ラウンドから響き渡る賑やかな声が町
中に響き渡っていました。

さて、美幌の運動会の歴史を紐解く
と、明治 42（1909）年に美幌尋常小
学校で初めての運動会が開催されまし
た。写真はその時に撮影されたもので、
美幌小学校のシンボルである柏の大木
も見られます。写真をよく見ると、子
ども達が二つの集団に別れているよう
に見えます。拡大して確認したところ、
男の子と女の子が分かれて並んでいる
ようです。向かって右側が男の子、左
側が女の子で男の子の方が多いうで
す。明治時代の終わりころになると、
全国的には男女の就学率の差がほとん
ど無くなっているのですが、美幌では
差があったのでしょうか？

写真をさらに観察してみると、子ど
も達の頭上に万国旗がたなびいてい
るのがわかります。明治時代の中ごろ、
華やかなイベントの象徴として万国旗
が広まり、各地の運動会でも掲げられ
るようになったそうです。その習慣が、
道東地域にまでも広まっていたこと
が、ここからわかります。さらに子ど
も達の後ろに注目すると、文字が書か
れた横断幕に気づきました。美幌神社
と書かれているようです。のぼり旗を
横断幕として使用したのでしょいか、
村の一大イベントのために駆り出され
てきたのでしょう。細く見ていくと、
様々な情報がこの写真には隠されてい
ます。

さて、この時行われた種目ですが、
当時の在校生の証言から紅白の信号、
二人三脚、浦島太郎などだったそうで
す。昔から運動会では様々な種目に取
り組んでいたのですね。

【発行】

美幌博物館

【デザイン・編集】

城坂結実・八重柏誠

【お問い合わせ先】

美幌博物館

北海道網走郡美幌町字みどり 253-4

Tel / 0152 (72) 2160 Fax / 0152 (72) 2162

mail / museum@town.bihoro.hokkaido.jp

<http://http://www.town.bihoro.hokkaido.jp/bunya/museum/>

無断掲載・転載を禁ずる

学芸員のつぶやき



6月に運動会が行われるのは気候が穏やかだから、と言われているものの、近年は雨の日が多く、あまり安定していない印象です。娘の運動会は3年連続で雨に祟られてしまいましたが、4年目に初めて1日通して晴れの運動会でした。(八重柏)